JAはだの

発行所
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711㈹
編集兼発行者 宮永 均

今月の特集
4～5面

振興計画で農業活性化へ

JAはだのは「地域農業振興計画」を策定・実践し、秦野の農業活性化に取り組んでいる。最終年度の第二次計画を実践し、第三次計画の策定を進めている。

メール情報配信サービス
QRコードで登録を

JAはだのは、携帯電話やパソコンなどのメールを利用した情報配信サービスを行っています。月2回のメールマガジンと、営農・じばさんず・セレモニーホールなどのさまざまな情報を発信しています。上記のQRコードを読み取り、簡単な手続きをするだけで登録できます。

お問い合わせは組織教育課まで。☎81－7714

黄や白鮮やか 大菊ずらり

シャッターチャンス

菊花会は1～5日、じばさんずで菊花展を開いた。黄や白などの大菊がずらりと並び多くの来店者でにぎわった。

会員11人が「盆養作り」に仕立てた厚物や管物の大菊など104点を出品。審査会では、新たにスプレイ菊も審査の対象にしたことで、多種多様な菊がそろった。最優等組合長賞には、曲松の有馬敦子さんの盆養管物「泉郷白情熱」が輝いた。

関野勇会長は「菊花展は仲間づくりにもなっているので、今後も継続的に開催していきたい」と笑顔で話した。

会場に並ぶ豪華な菊

年末特別貯蓄運動
うれしい特典も

現在、年末特別貯蓄運動を実施しています。12月29日（金）まで、新規の自動継続定期貯金期間1年または3年が店頭表示金利の7倍で開設できます。

特典として、預け入れ予約をして新規定期貯金30万円以上を契約した方には「ちょリスバスタオル」を進呈。また、新規定期貯金10万円以上を契約した方には「ちょリスボールペン」を、窓口に来店して新規定期貯金を開設した方には「足柄茶」のボトル缶もプレゼントします。

詳しくは各支所・支店、または信用課まで。☎81－7716

農業まつりに2万9000人来場
秦野産の魅力発信

JAはだのは18、19の両日、本所で農業まつりを開いた。今年のテーマは「育てる喜び　食べる喜び！　元気の源　はだの産！」。市内外から約2万9000人が訪れ、にぎわいを見せた。

まつりは、実りの秋を祝うとともに、地域住民に秦野の農業やJAへの理解を深めてもらおうと毎年開催している。来賓には、古谷義幸市長や牧島かれん衆議院議員をはじめ、久保寺邦夫、神倉寛明両県議会議員らが駆け付け、まつりの開催を祝った。

新鮮な農産物を生産者自ら販売

人気を呼んだ「ぴーなマン焼き」

会場では、業種別部会が良質で新鮮な秦野産農産物を即売した他、女性部や青年部などの模擬店が軒を連ねた。市内の小・中学生、高校生と近隣のアジア諸国の書道・図画・作文の作品なども展示した。

今年は初めて、JAオリジナルキャラクター「ぴーなマン」の形をしたベビーカステラ「ぴーなマン焼き」を販売。ステージでは、女性理事と女性部員が考案した「ぴーなマン体操」を披露し、会場を盛り上げた。

農産物品評会 受賞おめでとう

良質な農産物を出品した品評会受賞者

第53回秦野市農産物品評会の各類の最優秀賞受賞者は次の通り。

▽神奈川県知事賞＝青木剛一（平沢）・アロニア
▽神奈川県湘南地域県政総合センター所長賞＝諸星邦子（松原町）・ネギ
▽秦野市長賞＝木村まゆみ（東田原）・みそ
▽秦野市議会議長賞＝石原次男（渋沢）・サトイモ
▽秦野市農業委員会会長賞＝中村誠治（曽屋）・ミカン
▽相州落花生協議会会長賞＝沼田佐七（鶴巻）・落花生

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

農産物の魅力 新たな加工品 ぎゅっと詰め

秦野市内の農家が、自身が生産した農産物の加工品を続々と商品化している。販売先のJA直売所などでは「とてもおいしい」「秦野の農産物を使っているから安心」と好評。秦野の農産物の魅力をさまざまな形で消費者に伝えている。

トマトやブドウ ファン拡大

ジュース

新たにジュースを完成させたのは、市内の若手農家3人。施設でトマトを栽培する堀山下の村上耕一さんは「村上トマトみ」を販売する。

きっかけは、村上さんが小田原市の加工業者に委託してトマトジュースを作ったこと。村上さんが須藤さんと原さんに声を掛け、取り組みが広まった。それぞれが生産する農産物には、すでに多くのリピーターが付いている。

完成させたジュースを手にする村上さん、須藤さん、原さん（左から）

園のストレートトマトジュース」、ブドウを栽培する富浦の須藤政一さんは「丹沢ぶどうストレートジュース」、施設で野菜を栽培する今泉の原聡さんは「とまとのめぐみ」を販売する。

これまでとは違う購買層にもファンを増やす狙いだ。

JAや自身の直売所、市内の量販店などで販売。売れ行きは好調で、贈答用などとしても人気が高い。

村上さんは「他の農家にも取り組みが広がり、秦野の農業が一層盛り上がれば」と期待を寄せている。

パスタ

菩提の㈱大地は、小麦で「大地のパスタ」を作った。やや細麺でもちもちした食感が特徴。じばさんずで7月から販売を始め、来店者から人気を呼んでいる。

同社は合計約10㌶で小麦の他、大豆や米などを栽培している。以前から加工品の開発にも力を入れ、しょうゆや豆菓子などを打ち出してきた。

パスタに使用したのは強力品種の「ゆめかおり」。安全・安心を心掛け、所属する秦野小麦出荷組合が独自に策定したGAP（農業生産工程管理）に合わせて栽培した。

青年部がじばさんずで開く対面販売イベント「ユースマルシェ」では、試食会も開催。来店者の反応も上々で手応えを感じている。

同社の小泉貴寛さんは「今後も加工品のバリエーションを増やして、秦野産のおいしさを多くの人に伝えていきたい」と意気込む。

小麦 細麺でもちもち

もちもちした食感が特徴の「大地のパスタ」

開店15周年祭 4526人が来場
じばさんず

じばさんずは11、12の両日、開店15周年を祝い、周年祭を開いた。市内外から4526人が来場した。

多くの来店者でにぎわった抽選会

同店敷地内には模擬店がずらりと並び、秦野産豚肉を使った「じばカツ」や農家手作りの加工品などを販売した。産地直送の「米（まい）ボトル」などが当たる抽選会も用意。会場は多くの来店者でにぎわいを見せた。

間提携を結ぶ8JAのファーマーズマーケットも出店。福島県JA会津よつばの干し柿「蜂屋柿」や長野県JA上伊那の五平餅など、全国各地の特産品も並んだ。

2000円以上購入した来店者には、米「はるみ」が1・5㌔ボトルに入った「米（まい）ボトル」が当たる抽選会も用意。会場は多くの来店者でにぎわいを見せた。

接近！おじゃまします ㊻
「おいしい」の声が励みに

東田原で露地野菜などを栽培する桐生茂信さん。農家の家庭に生まれ育ったが、高校卒業後は元々興味のあった自動車関係の会社に就職し、部品の製造などの仕事に長年汗を流した。5年ほど前からは休日に農作業を手伝い始め、農業に専念しようと今年9月に会社を退職。今では毎日、妻のなつみさんと共に畑に出掛け、農作業に励んでいる。

現在、30㌃の畑でブロッコリーやネギ、ダイコンなど露地野菜を中心に年間約20品目を栽培。農作業は妻や親戚、東地区直売研究会の仲間から教わっている。桐生さんは「分からないことばかりなので、いつもサポートしてくれる方々にはとても感謝している」と笑わり、使用する農薬は極力減らしている。収獲した野菜は、自宅入り口に設置している無人直売所に並べる他、東地区農産物直売研究会の仲間と共に、田原ふるさと公園や東名高速道路の中井パーキングエリアなどに出荷している。

「気候の変化や病害虫の被害など、農業は難しいことばかりだが、収穫したときの喜びやお客さんの『おいしい』の声が励みになっている」とやりがいを語る桐生さん。「これからも、お客さんに喜んでもらえるようなものを作っていきたい」と意欲を燃やしている。

東田原の桐生（きりゅう）茂信（しげのぶ）さん（59）

やえのちゃんぴーなマンの「JAってなに??」
無形遺産登録で〝価値〟評価

ぴーなマン：協同組合が有名な遺産に登録されたって聞いたんだけど、やえのちゃんは知ってる？

やえのちゃん：ユネスコの「無形文化遺産」のことね。日本では、歌舞伎や和食が登録されていることで知られているわ。ユネスコがドイツからの申請を受けて「協同組合において共通の利益を形にするという思想と実践」を登録したの。

このことは、ドイツだけのものにとどまらないわ。世界の協同組合全体の価値が評価されたということなのよ。こうして認められた協同組合を、組合員一人一人の力でさらに発展させて、より良い地域社会づくりにつなげていくことが大切ね。

ぴーなマン：世界的に、協同組合の考え方や活動は重要だと認められているんだね。教えてくれてありがとう、やえのちゃん。

振興計画の成果着々

地域農業活性化へ／組合員の声を基に

JAはだのは、「地域農業振興計画」を策定・実践し、秦野の農業活性化に取り組んでいる。組合員の声を基に、農産物の生産振興や担い手のサポートなど、さまざまな事業を展開。現在、最終年度を迎えた第二次計画を実践するとともに、来年度に向けて第三次計画の策定を進めている。JAは都市農業の確立を目指し、2008年から「地域農業振興計画」を策定し、5か年計画で実践。2013年からは第二次計画として、振興作物の選定や地域農業の担い手に出向くJA担当者（愛称TAC＝タック）の活動による担い手支援などを着実に進めてきた。

TACがきめ細かく

タブレット端末を使って農家に情報提供

昨年4月には、機構改革に着手し、TAC活動の専任チームを発足した。さらに、これまで3人だったTACを今年は4人に増員。営農指導はもちろん、JA全農かながわ中央センターと連携した新たな販路の確保などにも力を入れている。

TACは、業種別部会の部会員や認定農業者、じばさんずへの大口出荷者らを中心に、常時巡回している。病害虫の防除や生産資材、市場価格などの情報を農家に提供。農家からは「畑まで来てくれるので、相談しやすい」「新しい肥料や農薬の情報などを提供してくれるので助かる」などと好評だ。

秦野産を売り込むため、日々の農家巡回から得た農家の栽培品目や農産物の収穫時期などの情報を同センターと共有している。昨年9月からは、小田原百貨店に秦野産農産物の出荷を新たにスタートさせ、さらに、今年5月には同社の渋沢店への出荷にもこぎ着けた。

エゴマ導入 獣害を回避

「アロマレッド」特産に

エゴマを収穫する飯田さん

JAが振興作物の一つに位置付けているのが、エゴマだ。特有の香りには鹿やイノシシなどに対する忌避効果があるのが特徴。農産物への被害が多発している中山間地でも栽培しやすい作物として、農家10人と1生産者グループが合計44㌃の圃場で栽培に励んでいる。

14日に今シーズンの出荷が始まったニンジン「アロマレッド」も、振興作物の一つ。1月末まで出荷が続く予定で、収量は約5㌧を見込んでいる。8月の日照不足などで生育が懸念されたものの、今年も品質は上々だ。

「アロマレッド」は、連携するJA全農かながわ中央ベジフルセンターから得た消費者ニーズなどの情報を基に、2014年に栽培をスタートさせた。現在、農家18人が合計約60㌃の圃場で栽培している。

JAは生産拡大に向け、地域農業振興を目的に積み立てている農業振興基金から種子の費用などを一部助成している。TACは各農家を常時巡回し、土づくりや収穫時期などを指導。日本農業新聞の市況データを参考に、同センターとの価格交渉にも努めている。

出荷初日は、JA選果場で出荷目合わせをした。同センターの職員や営農課職員らが、出荷規格を説明した他、出荷日や市場価格などについても周知した。集荷したのはニンジン約180㌔。同センターを通じて県内のAコープや量販店などに出荷し、来店者から人気を呼んでいる。

出荷規格を確認するJA職員と農家ら

今年も「花の日」豪華に装飾・展示

部会が直売所でPR

店内を豪華に彩った花の装飾展示

花き部会は2日、じばさんずに豪華な花の装飾を展示した。地場産の花の消費拡大に向け、11月3日を「花の日」と定めて毎年取り組んでいる。5日まで展示し、6日には来店者に無料配布した。

作業には、同部会を構成する露地部、カーネーション部、バラ部、鉢物部、一般切花研究会の代表10人が参加した。丹精して育てたバラやカーネーション、ケイトウなどを持ち寄り、大型の花台やプランターを装飾。店内花コーナーに設置している「JAはだのみんなで地産地消運動」の看板の下に配置し、足元にはパンジーやシクラメンなどを並べた。

加藤政市部会長は「今年は気候が不安だったものの、部会員は努力して美しい花を生産した。ぜひ秦野の花を家庭に飾ってほしい」と笑顔で話した。

農の魅力パチリ

写真コン入賞作

入賞作品を手にする近藤さん

JAはだのが募集した第13回「農の魅力」写真コンテストの入賞作品が決まった。27点の作品の中から、西田原の近藤静江さんの作品「こわくないよ」が見事、組合長賞に輝いた。

コンテストの作品は「農業やJAの活動を通じた、ゆとり、やすらぎ、うるおいを感じる魅力ある秦野の景観」をテーマに、4月から10月にかけて募集。田畑の風景や農作業中の人の姿など、工夫を凝らした作品が集まった。入賞した10点の作品は18、19の両日に開いた農業まつりで展示した。

近藤さんは「小さい子どもの写真を撮るのが好き。受賞したことで自信にもつながったので、今後も楽しみながら続けていきたい」と笑顔で話した。

第三次計画策定へ

アンケートや営農座談会

JAは組合員のニーズに沿った第三次計画を策定するため、農家と准組合員を対象にアンケート調査をした他、各地区で営農座談会を開いた。

農家へのアンケートは、業種別部会や農業経営士会、秦友会のメンバーら502人を対象にした。「有害鳥獣対策を強化してほしい」「生産資材などの価格を引き下げてほしい」などの要望が寄せられた。

准組合員へのアンケートは、合計100人が対象。「食と農についてどのようなことに関心があるか」の設問では「なるべく秦野産・県産の農産物を買うなどして、地元の農産物を応援したい」の回答が多く、秦野の農業への関心の高さが伺えた。

多くの組合員が出席した上地区の営農座談会

営農座談会では、出席した組合員合計121人から、多くの意見・要望が寄せられた。上支所で2日に開いた営農座談会では、22人が出席。「生産資材価格の低減が実感できるよう、より一層努めてほしい」などの要望の他、「荒廃農地が増えている」「後継者がいない」といった声も挙がった。

JAは、組合員から寄せられた声を基に今後も検討を進め、地域農業にとってより良い計画を策定し、着実に実践していく。

見て・聞き・振り・ふり屋さん No.415

幸町の中村ソノ子さん（88）、鈴木栄治さん（52）

幸町で和菓子屋「榎本堂」を営む中村ソノ子さんと娘の夫の鈴木栄治さん。明治初期に開業した同店を、中村さんは3代目、鈴木さんは4代目として守っている。現在は娘と3人で店を切り盛りし、力を合わせて仕事に向き合っている。

伝統の味を受け継ぐ

―仕事内容は？

和菓子の製造や接客の仕事などを分担して行っています。

―心掛けていることは？

材料代が上がっても、商品の値段は上げないように努力しています。サイズの変更はしましたが、餡（あん）のレシピなどは昔のままです。自然の味を生かすため、防腐剤など食品添加物は一切使用していません。そのため、賞味期限が短いのでお買い上げの際にはお早めにお召し上がりください。

―お薦めの和菓子は？

「落花生最中」です。昭和30年に秦野市から名産品を考えてほしいと依頼があり、そこで生まれた商品です。落花生の形をしたもなかの中に小豆と落花生で作った餡がたっぷり詰まっています。他にも、栗入りようかんやきんつばなど常時11品が店頭に並んでいます。

―客層は？

店には、昔なじみの方が多く来店します。「落花生最中」は、駅前や大型スーパーにも出しているので、若い方にも親しまれています。

―今後の展望は？

先代たちが作ってきたものを受け継ぎ、伝統を守っていきたいです。健康第一に、今後も長く店を続けられるよう家族みんなで頑張っていきます。

国産農産物 消費拡大へ

協同組合フェスタ

JAはだのは3日、秦野市総合体育館正面プロムナードで「市民の日協同組合フェスタ」を開いた。JAはだのをはじめ、生活協同組合ユーコープや森林組合など各協同組合が模擬店を出店した。

青年部は、JAグループの取り組む「やっぱり国産農畜産物推進運動～みんなの良い食プロジェクト～」をPR。じばさんずなどに関するアンケートに答えた来場者に、部員が作った野菜や加工品を手渡しながら、国産農畜産物の消費を呼び掛けた。

来場者にアンケートへの協力を呼び掛ける青年部員

会場では地元農家グループや女性部が、生産した野菜や果物の他、地場産農産物を使った焼きそばや漬物などを販売し、秦野産のおいしさをPRした。

長寿者に記念品贈呈

いきいきライフ支援事業

おめでとうございます。末永くお元気でお過ごしください。

99歳（白寿）

▽大根地区＝宇山きく（鶴巻南）

88歳（米寿）

▽本町地区＝磯部昌司（ひばりヶ丘）
▽東地区＝込山重行（東田原）
▽北地区＝大澤憲一（菩提）
▽大根地区＝川口敬子（北矢名）小島紀男（南矢名）
▽本町地区＝露木昌子（水神町）清水明美（曽屋）
▽西地区＝小野邦久（千村）北村達雄（堀山下）諸星湛子（渋沢）
▽上地区＝和田明（柳川）森谷義勝（三廻部）矢口セツ子（菖蒲）

77歳（喜寿）

※自己申告ですので、該当の方は各支所・支店までご連絡ください。

健康教室で地域の勉強も

戸川西生産組合

戸川西生産組合は2日、福祉施設「ときの家」で健康教室を開いた。JAの「健康教室助成基準」を活用したもので、組合員16人が参加した。

参加者は、JA神奈川県厚生連の保健師から認知症の症状や予防方法などを学んだ他、簡単な計算やしりとりなどと運動を一緒に行う「コグニサイズ」も実践した。

山田文夫生産組合長は、参加者により地域に愛着を持ってもらおうと、「気になる地域の話」と題して講義。同地区の字名の由来や歴史などを解説した。参加者は、幼少時代の生活や町並みなどの話に花を咲かせた。

山田生産組合長は「准組合員が9割以上を占める同生産組合にとって、健康や地域の話題はJAへの理解を深める良いテーマ。今後も開催していきたい」と意気込みを語った。

「地域」をテーマに講義する山田生産組合長

優勝は38キロ

ジャンボカボチャコンテスト

秦野市園芸協会は13日、本所選果場でジャンボカボチャコンテストを開いた。今年は多雨の影響で、早期に腐ってしまうカボチャが続出。その中でも見事、重さ38㌔のカボチャを育てた名古木の大木酉男さんが優勝した。

コンテストの対象は今年4月に配布した大型品種「アトランティックジャイアント」。大木さんは毎年しっかり元肥を施した畑でカボチャを栽培し、これまで同コンテストで何度も入賞している常連だ。「昔から牛の餌としてカボチャを作っていた経験が生きている」と笑顔で話した。

38㌔のジャンボカボチャを育てた大木さん

エントリーしたカボチャは18、19の両日に開いた農業まつりで一般公開した。

野良からこんにちは

和田初音さん（柳川）
「ブロッコリーの草取りをしています。収穫して、お正月に家族や親戚と食べるのを楽しみにしています」

草山和美さん（本町）
「アロンソアを定植しています。育ったら、じばさんずや都内の市場に出荷する予定です」

2017年度書道・図画・作文コンクール

入賞作品【秦野市農業協同組合長賞】

ＪＡはだのは、次世代を担う地域の子どもたちの豊かな心を育むため、市内の小・中学生、高校生を対象に「書道・図画・作文コンクール」を開いています。

今月は書道・図画の部の秦野市農業協同組合長賞９点の他、秦野市長賞と秦野市教育長賞の受賞者を紹介します。作文については、次号で紹介します。

また、ＪＡはだのは毎年、書道と図画の入選作品をタイ、韓国、台湾、ベトナムの子どもたちと交換しています。今年も、児童の作品がアジアの国々との懸け橋になっています。

※作文の部は次号掲載

書道半紙の部

末広小２年　倉持（くらもち）美花（みはな）

二年　倉持　美花

堀川小５年　田中（たなか）良汰（りょうた）

五年　田中　良汰

本町中２年　松本（まつもと）ひな

二年　松本ひな

書道条幅の部

本町小１年　熊澤（くまざわ）巧（たくみ）

一年　熊澤　巧

北小５年　小山田（おやまだ）雛乃（ひなの）

五年　小山田　雛乃

北中３年　齋藤（さいとう）由佳（ゆか）

三年　齋藤　由佳

図画の部

西小３年　石井（いしい）桃香（ももか）

南小６年　山口（やまぐち）芽依（めい）

西中２年　関（せき）裕史（ひろふみ）

【秦野市長賞】

◆書道半紙の部
天野（あまの）敦博（南小３年）
西本（にしもと）貴咲（本町小４年）
寺分（てらぶん）愛香音（本町中１年）

◆書道条幅の部
今井（いまい）瑠南（大根小２年）
戸塚（とつか）義貴（大根小４年）
加藤（かとう）駿一（南が丘中１年）
木村（きむら）玲温（北小１年）
山口（やまぐち）真央（南小５年）
大平（おおひら）花乃（南が丘中２年）
☆知道農業協同組合長賞
☆ＮＨＫ農協銀行坡州市支部長賞

【秦野市教育長賞】

◆書道半紙の部
齋藤（さいとう）里帆（北小１年）
三野（みの）謙真（南小６年）
松下（まつした）奈生（西中３年）

◆書道条幅の部
桐生（きりゅう）ノエル（東小３年）
原（はら）琉花（堀川小６年）
戸塚（とつか）蘭（大根中２年）

◆図画の部
伊藤（いとう）博樹（大根小１年）
下田（しもだ）蓮太郎（鶴巻小６年）
越崎（こしざき）航輝（南が丘中１年）

文芸の窓

〈俳句〉（酒井　敏光　選）

そば日和秦野盆地に花揺れる　芦川　松江（八沢）
焼き芋の数より子等の頭数　石原　酒井　紗恵（桜町）
未練かな芋屋の吹ける遠汽笛　松枝（渋沢）
東天の朱の照り返し息白し　柴崎　和子（渋沢）
貯水池の空と向きあふ野の小春　高橋　順子（大秦町）
助手席に泥大根のふて寝かな　柳川みち子（栄町）
箒杉青空突き抜け秋惜しむ　佐藤英美子（南矢名）
小枝尽き半焼けの芋ガリと噛む　森高　由子（渋沢）
果樹園の人声去りし冬に入る　高島美和子（名古木）
石焼芋声にひかれててかわん　吉田　清美（渋沢）
木枯一番置手紙ある妣の留守　菊池としえ（善提）
焼き芋の汽笛に追いつく路地の裏　志賀　明子（千村）
季の替る初冬の手紙黙殺す　選者

〈短歌〉（久保寺　富男　選）

愛唱歌ふるさとも今は歌えずとふ
被災地の友を見舞いはげます　久保田　浩（寺山）

評　被災からはや６年。営々たる努力にもかかわらず復興は遅々として進まず、人々の記憶の中でやもすると薄らぎがちな昨今、当事者にとっては、荒廃を眼のあたりにして、懐かしいふるさとへの思いは複雑であろう。上の句の心情が切ない。

おのが身を地に横たえて昼どきの工事の人らは安らいにけり　八木　実（鶴巻北）
一富士のマスターとギャグを飛ばし合い歌会帰りに麦酒をあおる　細田　富士（千村）
今は亡き知り人多く雨の日は歌集開きて来し方を思う　今井　かめ（羽根）
日曜日家族総出でうでピーの豆を収穫風はさわやか　伊東　久（渋沢）
霧深し畑の胡瓜時節待ち種の芽生きて花強く咲く　長岡　広文（小蓑毛）
後の世のあるを信じるなく来しが妻逝きてより日々を香たく　選者

今月の理事会

11月20日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽2017年度仮決算監査意見書に対する顛末（てんまつ）報告について
▽国内産農産物検査に係る検査場所の追加指定について
▽2017年度秋の座談会意見・要望の対応について
▽理事の利益相反取引について
▽出資口数の減口について
▽国債窓販・投信窓販業務にかかる関連規程類の変更について
▽理事の利益相反取引について

コンバインで火災

安全な農作業へ注意喚起

ＪＡはだの管内で、ガソリンエンジン搭載の小型コンバインの火災が発生しました。安全に農作業を進めるために、下記の点などに注意してください。

○エンジンやマフラー・プーリ駆動部近くのごみは取り除く
○わらくずの上で作業しない
○燃料漏れに注意する
○燃料キャップを締め、こぼれた燃料は拭き取る

お問い合わせは、ＪＡ農機センターまで。☎81―8394

秦野の農家ご飯

鶏肉とカブのポトフ

北支部菩提上東新田班　高梨 知子

■材料（４人分）■

鶏もも肉300㌘、カブ４個（160㌘）、タマネギ小１個、ニンジン小１本、水３カップ、チキンブイヨン２個、ローリエ１枚、ブロッコリー120㌘、塩適量、こしょう適量

＜作り方＞

①鶏肉は大きめの一口大に切る。
②カブはくし型に切る。タマネギとニンジンは１㌢幅の輪切りにする。
③鍋に①と②を入れ、水を注いで火にかける。煮立ったら火を弱めてあくを取り、チキンブイヨンとローリエを加え、30分煮る。
④ブロッコリーを小房に分けて入れて５分煮る。塩、こしょうで味を整えて完成。

＜ひとことアドバイス＞

旬のカブを使った料理です。しょうゆを加えて和風に、トマトを加えて酸味の効いたスープに、クリームシチューのもとを加えてシチューにと味の変化を楽しめます。他に旬の野菜を加えてもおいしいです。

詐欺事件が発生

警察やＪＡに相談を

近隣ＪＡで、百貨店や全国銀行協会の職員を名乗った詐欺が発生しています。言葉巧みに暗証番号を聞き出し、訪問者へキャッシュカードを渡すように指示する手口ですので、ご注意ください。

全生産資材を３％引き

ＪＡグリーンはだのは12月13日（水）～22日（金）、一部商品を除き、全ての生産資材を３％引きで販売します。お得なこの機会にぜひご購入ください。

お問い合わせはＪＡグリーンはだのまで。☎81―7719

ＪＡグリーンは頑張る農家応援

12月13日～22日

受賞おめでとう

日頃の成果を発揮

野菜部会施設部は７日、市内温室ハウスを巡回し立毛共進会を開いた。審査の結果は次の通り。

◎トマトの部▽優秀賞＝高橋庸郎（尾尻）▽優良賞＝田中和幸（上大槻）▽佳良賞＝澤村一雄（鶴巻）伊奈清（下大槻）今井忠春（南矢名）高橋誠一（下大槻）

◎キュウリの部▽優秀賞＝小島晴夫（上大槻）▽優良賞＝高橋庸郎（尾尻）▽佳良賞＝高橋誠一（下大槻）

◇

果樹部会茶業部は８日、市内圃場（ほじょう）を巡回して茶園共進会を開いた。審査の結果は次の通り。

◎成木の部▽優秀賞＝山口尚輝（菩提）柏木昭二（横野）▽優良賞＝山岸勉（寺山）

◎幼木の部▽優秀賞＝髙梨晃（菩提）

◇

花き部会鉢物部は９日、市内圃場を巡回してシクラメン立毛共進会を開いた。審査の結果は次の通り。

▽優秀賞＝高橋洋平（大秦町）▽優良賞＝富田茂靖（平沢）▽佳良賞＝原行雄（菩提）相原一之（名古木）

家の光　今月の新刊

一番よくわかるタイプ別
下肢静脈瘤の防ぎ方・治し方
池谷敏郎　著

多くの女性を悩ませる下肢静脈瘤（りゅう）。さまざまな症状の進行度ごとに最適な体操と食事療法を、メディアで活躍中の「血管先生」こと池谷医師が詳しく紹介。自分の症状に合ったベストな予防＆改善方法が選べる。定価1404円（税込み）

結婚相談日

12月10日（日）
時間　午前９時～正午
場所　ＪＡはだの本所
農業団地センター１階
お問い合わせ
組織教育課☎81―7714

税務相談日

税務相談日　12月11日（月）午前９時30分～
法務相談日　12月21日（木）午後１時30分～
場所　ＪＡはだの本所２階
組織教育課
☎81―7714
・予約制となっていますので、事前にお電話にてご予約をお願いします。
・受付は順に相談時間が決まります。

学費をサポート！　JAバンクは、進学の夢を応援します。　とくとくプラン
JA教育ローン
お使いみち　入学金、授業料、学費、パソコン購入費、アパート等入居費用、海外渡航費等教育費用に関するもの。
インターネットでかんたん事前審査申し込み！ PC・スマートフォンでご利用可能！　JAはだの　検索
QRコード読み取り可能な端末はこちらから
詳しくは各支所・支店または融資課まで　TEL 81-7713

休日ローン　年金　相談会
●住宅の新築・お借り換えや お車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。お気軽にご相談ください。
●これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。
日時　12月17日（日）
※時間は午前9時～午後4時まで どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。
会場　JAはだの本所 農業団地センター　ご来場の方に記念品を進呈
それぞれ事前予約をされると便利です。
◈各種ローンを相談される方は 融資課 に
◈年金受給手続きを相談される方は 信用課 に
■融資課 ☎81-7713　当日は 0120-954-093
■信用課 ☎81-7716　当日は 0120-954-092

〝さっとカプリーナ〟を作ろう

レース付きにアレンジ

女性部は7日、本所で『家の光』の記事を活用したカルチャースクールを開いた。部員29人が、レース付きの「さっとカプリーナ」を作った。

さっとカプリーナは、手拭いなどで作るかぶりもの。同部が型紙を起こして作り方を研究し、命名した。2015年5月号の『家の光』に掲載され、今年9月号の付録に読者のお気に入りハンドメイド作品1位として再度紹介された。

当日は、レースを付けて作り方を研究し、命名した。

布は白いレースが目立つ紺やえんじ色などを用意した。部員は好きな色を選び、互いに縫い付ける幅や順番を確認しながら作業を進めた。

参加した部員の一人は「レース付きは初めて作った。使うのが楽しみ」と話した。

レースを縫い付ける参加者

女性部考案『家の光』で紹介「使うのが楽しみ」

横浜港の倉庫内で説明を聞く参加者

食の安全意識向上

輸入農産物の保管状況視察

JAはだのは15日、女性部と市内の幼稚園の園児の母親を対象に、横浜港の視察を実施した。輸入農産物の保管状況や輸入に頼る現状を知ることで、食の安全や食料自給率に対する意識を高めることが狙い。19人が参加した。

参加者は港湾労働組合の組合員の案内で、輸入業者が保管する農産物の倉庫内を見学。輸入農産物が日本各地の特産加工品の原料にも使われることや、温度管理ができない場所で何年も放置されている現状を目の当たりにした。

見学後の講義では、輸入食品の危険性や流通システムの実態、過度な残留農薬の影響などを学んだ。

参加者は「輸入農産物の現状を知って、安全・安心な地場産の大切さが分かった」と話した。

かりんとうの揚げ具合を確認しながら調理

支部だより

大根支部　ふるさと料理教室

大根支部は10月25日、観音公民館でつるまきこども園の園児の母親を対象に「ふるさと料理教室」を開いた。21人が参加し、地場産の食材を使った赤飯とかりんとうを作った。

宮村菊江支部長が、「昔からかりんとうはおやつに、赤飯は慶事や仏事の時に作っていた」と話した。

参加者と一緒にミニモップを作成

上支部　お茶飲み交流会

上支部は1日、かわじ荘で上支所と連携して「お茶飲み交流会」を開いた。高齢者の健康維持と仲間づくりを目的に、参加者10人と一緒にミニモップ作りや体操をした。

部員は、割り箸と毛糸を使った20㌢ほどのミニモップの作り方を指導した。参加者からは「簡単にできたから家でも作りたい」「孫と一緒に作って楽しめる」と好評だった。その後、部員手作りの弁当を堪能し、女性部が考案した「ぴーなマン体操」などで体を動かす。

南支部　料理講習会

南支部は6日、本所で料理講習会を開いた。12人が、そば寿司（ずし）とヘルシーコロッケを作った。

そば寿司は同支部の稲毛うめ子さんが指導。少量の束を真っすぐ伸ばしてのりの上に置くことで、きれいな断面ができると細かく説明した。

コロッケはジャガイモとサトイモの2種類を調理。あらかじめ焼き色を付けたパン粉で包み、オーブンで焼くことで、油を使わないコロッケを作った。

調理後は、部員が持ち寄った漬物などと一緒に味わった。

そば寿司の手本を見る部員

12月の女性部行事予定表

1日（金）	7：00～	女性部企画旅行（2日まで）
4日（月）	10：00～	女性部運動会・農業まつり反省会
〃	13：30～	女性部本部役員会
6日（水）	10：00～	ままメートクラブ
7日（木）	7：30～	第2回フレッシュミセスのつどい
11日（月）	8：00～	東支部「支部旅行」
〃	9：30～	女性部支部役員会（大根・西）
〃	13：30～	女性部支部役員会（本町・南・北）
12日（火）	13：30～	女性部支部役員会（上）
〃	15：00～	上支部「プロハーブ講習会」
13日（水）	10：00～	生活文化活動体験発表会
14日（木）	9：30～	上支部「酢の料理教室」
〃	13：30～	本町・北支部「酢の料理教室」
15日（金）	9：30～	東支部「酢の料理教室」
〃	13：30～	大根支部「酢の料理教室」
18日（月）	8：30～	南支部「支部旅行」

いきいき女性部活動

「お針好会」

代表　樽林　君子

お針好会は部員11人で、月に1回、西支所でつるし飾りやバッグなどを作って活動しています。先生に「ここはこのように」と細かいところまで教えていただき、一針一針、楽しみながら頑張っています。楽しく作品作りができる喜びがあります。仕上がった作品を見せ合って楽しんでいます。大変な時もありますが、好きなことができることに感謝しています。

作品は農業まつりや文化交流会に展示していますので、ご覧いただければ幸いです。

また、興味のある方は一緒に作品作りをしませんか。お待ちしております。

告知板

生産組合土壌診断の実施

畑や水田の土壌を分析し、適切な施肥管理によって生産性や品質向上を図るため、土壌診断を実施します。

◎土壌（分析サンプル）の回収　12月27日（水）まで

◎対象作物　春野菜、その他

◎分析・診断項目　pH（水素イオン指数）、EC（電気伝導度）、硝酸態窒素、リン酸、カリ、石灰、苦土

◎採土袋　各支所・支店または営農課で配布。袋が足りない場合は封筒での代用も可能です。

◎提出場所　各支所・支店または営農課

※分析用の土は日陰で乾燥させ、ふるいに通してから袋に入れてください。量はふるいに通した土なら袋半分、通していない土は袋いっぱいに入れてください。採土した畑や水田の地番の他、自宅住所も記載してください。

◎診断結果　2018年2月中旬に処方箋を付けて郵送します。

お問い合わせは営農課まで。☎81－7718

ぬいぐるみ・人形供養祭を開催

JAセレモニーホールはだのでは、ご自宅に眠っているぬいぐるみや人形を、丁寧に供養し、処分させていただきます。供養祭後、内覧会も開催いたします。

◎日時　12月10日（日）

▽受け付け　午前9時から同10時

▽供養式　午前10時から

◎供養費

▽ぬいぐるみまたは人形1体　100円

▽段ボール1箱　1000円

※ガラス製、陶器製の人形・ガラスケースの取り扱いは不可。

お問い合わせはJAセレモニーホールはだのまで。☎83－2727

生産緑地地区の取得あっせんについて

秦野市より生産緑地法第13条に基づき、左表の通り生産緑地のあっせん依頼がありました。農業に従事される方で、生産緑地として取得を希望される方は、12月15日（金）までに秦野市都市政策課都市計画担当までご連絡を。☎82－9643

土地の所在および地番	地目	面積（平方㍍）
立野台一丁目5番7	畑	457
今泉2059番1	畑	1822
今泉2060番1	畑	571
今泉2061番1	畑	511

農産加工品相談会を開催

農産加工品をテーマにした相談会です。どなたでもお気軽にご参加ください。

○日時　12月20日（水）午前10時～午後4時

○場所　本所団地センター2階　調理実習室

○内容　午前は、県農業技術センターの職員による講義・実演。午後は、個別の相談をお受けします。

お問い合わせは生活福祉課まで。☎81－7717

営農技術　ヒント・ポイント

農業技術センター　0463-58-0333
普及指導部――果樹花き課　果樹（伊藤）
野菜課（吉岡）
作物加工課　作物（辻本）
農業技術センター足柄地区事務所　0465-83-5111
普及指導課――花き（勝間田）

果樹　キウイフルーツの冬季剪定

剪定の時期

剪定（せんてい）は、樹の活動が鈍る12月中旬から、2月上旬までの休眠期に行います。剪定時期が遅れると、切り口から樹液が漏出するので注意が必要です。

結果習性

結果習性は柿やブドウと同じ結果母枝型で、果実は春に新しく伸長した枝の基部に着果します。また、前年に着果した節からは枝が伸長しないため、単純な切り返しでは、着果部分が年々枝の先端へ移動してしまいます。

樹形

棚仕立ての場合、樹形は2本の主枝を一直線に配置した一文字仕立てが一般的です。1本の樹で多くの面積を覆うべく、主枝の数を多くすると、枝が非常に混み合い、管理が煩雑になったり、果実品質が低下するため注意が必要です。

主枝1本（約3～4㍍）に対し4本程度の側枝を、主幹から1㍍離れた所に約80㌢間隔で互い違い（片側160㌢間隔）に配置します。それぞれの側枝には約40㌢間隔で3～5本の結果母枝を配置します。ただし、萌芽（ほうが）～新梢伸長期に風が強く吹く園では、多めに結果母枝を残し、夏季剪定で調整します。

間伐

剪定を行う前に、まず樹の間隔が適正か確認しましょう。樹冠が重なり合い、枝がどの樹から出ているか分からない場合は、思い切って間伐を行います。

剪定

剪定では、枝が適正な数になるよう、混み合った枝を整理します。

まず、今年伸長した徒長枝（2㍍以上ある長く太い結果母枝に適さない枝）を基部から剪除します。

続いて、結果母枝に適した枝（芽の膨らみが大きく、長さ1㍍程度、基部の太さが1～1・5㌢程度の枝）を残しながら枝を整理し、着果した節より先の膨らみが大きい充実した芽を5～7芽残して切り返します。

枝を整理する際に、一度に多くの枝を剪除すると樹勢が低下したり、樹が暴れることがあります。

枝が多く、込み合った樹では数年かけて適正な枝の数に整理してください。

側枝については、着果部分を主枝に近づけるため、3年を目安に、主枝から出た新しい枝と更新します。

（伊藤）

じばさんずNEWS

【12月のイベント】

☆「ユースマルシェ」2日（土）
青年部員がニンジン、サトイモ、サツマイモの他、おでんに合うダイコンなどを対面販売します。

☆「国産加工豚の日」2日（土）、9日（土）
㈱フリーデンが国産豚を使用した加工品を試食販売します。

☆「果物フェア」2日（土）、3日（日）
秦野産や産地間提携先の果物などを販売します。

☆「シクラメン祭り」9日（土）、10日（日）、16日（土）、17日（日）
秦野産シクラメンを店頭価格の10％引きで販売します。地方発送もできますよ。

☆「上伊那年越そば」23日（土）
JA上伊那の年越そばの対面試食販売です。

☆「バーベQでジュウジュウ」23日（土）
㈱オダコーがやまゆりポークを試食販売します。

☆「クリスマスフェア」24日（日）
秦野産の花や生産者の手作りお菓子を販売します。

☆「お茶フェア」24日（日）
高梨茶園さんが秦野産の茶を試飲販売します。

☆「年末市」28日（木）、29日（金）、30日（土）
正月に向けて野菜や生産者の加工品、菓子、おもちなどを販売します。大人気のじばカツ、鶏のから揚げ、コロッケなども販売します。

☆「たまごの日」毎週月・金曜日
店頭価格から10％引きです。「みくるべたまご」は除きます。

☆「試食の日」毎週火曜日
生産者が出荷している旬の野菜やレシピを紹介します。

☆「お米の日」毎週水曜日
店頭価格から10％引き。

☆「肉の日」毎週木曜日・29日
店頭価格から5％引き。

今月の生産者

羽根の大津（おおつ）智司（としじ）さん

出荷品目　通年で洋ランや蜂蜜、夏から秋に果物も出荷

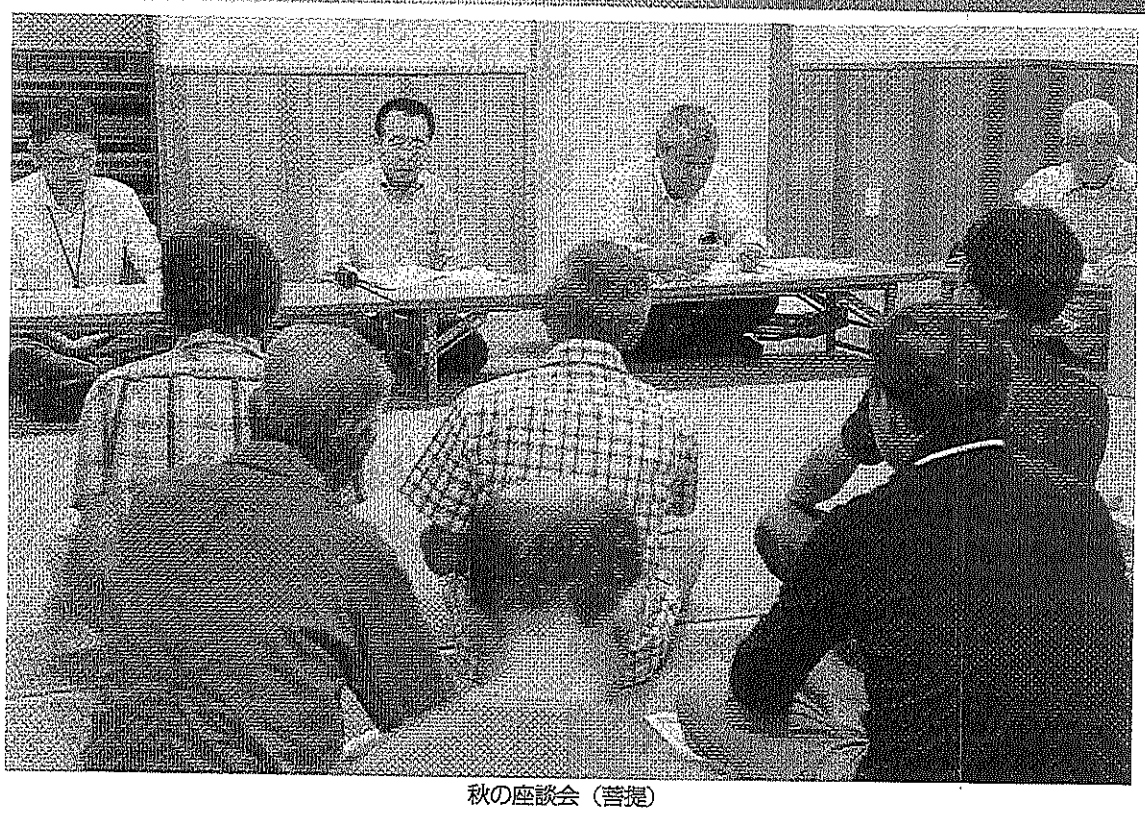
蜂蜜は定番のアカシア以外に桜やヤマフジ、栗など約8種類の単花蜜を採蜜。美容に加え、大スズメバチ入りの物は滋養強壮の効果もあります。花によって味が違うので食べ比べてみてください。洋ランは切り花も鉢花も花持ちが良いです。冬の時期は水と肥料のあげ過ぎが逆効果となりますのでご注意ください。

JAはだの　2017年末特別貯蓄運動
ウィンターキャンペーン　キャンペーン期間 2017年11月15日(水)～12月29日(金)
期間限定　新規定期貯金1年または3年自動継続　うれしい！店頭表示金利の金利プレゼント7倍
※個人の方の契約に限ります。なお、自動継続後は店頭金利となります。
11月15日(水)～　新規定期貯金 30万円以上 の預入予約をされた方に
「ちょリスバスタオル」をプレゼント！　※お1人様1個限り、なくなり次第終了
※申込袋についている"預入予約票"を切り取りご提出いただく。予約連絡のあった方が対象となります。※申込袋は各支所・支店でお受け取りください。
粗品進呈　新規定期貯金 10万円以上 で「ちょリスボールペン」1本進呈　※お1人様1本限り、なくなり次第終了
窓口にご来店、新規定期貯金を開設された方には「足柄茶」ボトル缶(290g)プレゼント！　※お1人様1本限り、なくなり次第終了

JA正職員（新卒・中途採用）を募集
●応募資格　大学・短大を2018年3月に卒業予定の方、または大学・短大を卒業し2018年3月末で30歳未満の方（市内および隣接市町に在住の方）
●募集人員　若干名
●職種　JA業務全般（事務・渉外・店舗など）
●受付期間　2018年1月15日（月）まで
●勤務開始日　2018年4月からを予定しています
●応募方法　下記ホームページの採用情報欄をご覧ください
●問い合わせ先　〒257-0015 秦野市平沢477番地
秦野市農業協同組合　企画管理部総務課 人事教育係
☎0463-81-7711（平日の午前8時30分から午後5時まで）
■ホームページアドレス　http://ja-hadano.or.jp

改革の実現に向け協同の力を発揮

83会場で「秋の座談会」



秋の座談会（菩提）

JAはだのは9月29日（金）から10月12日（木）まで、市内83会場で「秋の座談会」を開きました。

座談会には、全体で1155人の組合員が出席し、589件の意見・要望が寄せられました。主には、自己改革への取り組みや役員改選などについて多くの質問および意見が寄せられました。

これらの意見・要望は、担当部署や担当部会で検討を重ね、さらに理事会で協議しました。

ここに主なものを報告します。

組合員の皆さまから寄せられた意見・要望を今後のJAはだのの運営に反映させ、さらに発展させるように役立てていきます。

意見＝組合員からの意見要望です

対応＝意見・要望に対するJAの対応です

秋の座談会出席状況

2017年9月29日(金)～10月12日(木)

地区名	出席人数（うち女性）	意見・要望
大根	146 (38)	83
本町	100 (34)	66
東	168 (48)	87
南	167 (46)	94
北	138 (45)	94
西	266 (88)	117
上	116 (34)	38
本所	54 (28)	10
合計	1155 (361)	589

営農

米「はるみ」の特徴は

意見 今年から水稲新品種の「はるみ」を作付けしたが、倒伏してしまった。「キヌヒカリ」より優れた品種と聞いていたが、どのような特性の品種なのか。（大根・本町・東・北・西）

対応 「はるみ」は「コシヒカリ」と「キヌヒカリ」を交配した品種で、玄米品質にも優れ、食味も良好と言われています。また、高温障害への耐性や穂発芽しにくいといった点が長所として挙げられます。初期生育が旺盛な品種なので、「キヌヒカリ」と同量の元肥を施用すると、背丈が伸びる傾向にあります。今年は紋枯病の発生に伴う倒伏も散見されました。対策としては、元肥の減量、紋枯病対策、ケイ酸資材を施用することにより、倒伏のリスクを軽減することができます。

意見 都市農業の在り方に、地域への農業理解につながる事業として、生産緑地で家庭菜園などができる仕組みはないか。（南）

対応 秦野市都市農地保全活用推進協議会で、生産緑地での都市型農業経営形態として体験型農園の普及を手掛けています。市街化区域内農地の保全活用・後継者対策などの期待も大きい事業として、行政と連携して取り組んでいきます。

意見 電気柵の助成金は来年も継続していくのか。また電気柵の種類と助成金の内容を教えてほしい。（大根・本町・東・南・北・西）

対応 助成期限は2018年2月28日までですが、需要が多いことから次年度も期間を延長して対応します。種類は乾電池式とソーラー式があります。生産組合注文の取りまとめ（年2回）およびJAグリーン店舗でもセット価格で販売していますので、ご相談ください。助成は年度内に1回で、事業費の2分の1以内、上限は3万円です。JAはだのの助成とは別に組合員は、JAグループ神奈川が実施する「農家応援プログラム」の有害鳥獣対策費用助成を受けることができます。実質負担額（補助金等控除後）の2分の1以内、上限15万円までです。こちらは対象条件（耕作面積30アール、販売金額50万円以上）などがありますので、申請については各支所・支店・営農課まで確認をお願いします。

「はるみ」の生育状況を毎月調査

意見 生産資材コスト低減について、JA全農はどう考えているのか、また仕入れ先は全てJA全農なのか。（大根・東）

対応 過去の仕入れ先はJA全農が中心でしたが、現在ではJA全農と系統外業者と比較し、安価で品質も良いものを選択するようにしています。JA全農も取扱銘柄の集約や、仕入れ先の徹底した比較を行い、有利な取引先からの調達により供給価格低減の取り組みを始めています。

意見 生産組合注文書の件で、資材関係の注文書は回覧で記入しても支所や本所に届かないことがあったので、農薬・肥料と同じ個別注文にできないか。（大根）

対応 同様の事例は他支所でも発生していますが、個別注文はコスト面を考えると難しい状況です。2017年9月の注文書から表紙に発注確認欄を設け、注文する方が○印を付けることで、注文の確認ができるように改善し、中身を見ないで注文の有無が分かるようにしました。この欄への記入を励行していただき、誤廃棄や未提出の解消にご協力をお願いします。

意見 JAから農機具を購入していないが、使い方の指導をしてくれるのか。JAで購入していない農機具も整備講習会に参加できるのか。（西）

対応 農機具に関する問い合わせや使い方の指導については、特殊なものを除き対応します。整備講習会は農作業事故の撲滅を目指した実施で、購入先などの条件はありません。生産組合などを中心とした団体での講習会ですが、農機具の安全使用のためぜひご参加ください。

JAはだの

発行所
秦野市農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
編集兼発行者 宮永 均

JAはだの

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

目次

1面…営農関係
2面…はだの都市農業支援センター・店舗販売・生活福祉・経済・葬祭関係
3面…信用・共済・改革推進関係
4面…総合リスク管理・企画・総務・組織教育・㈱協同コンサルトはだの関係

大刷り2号機（N2BFEP02）　2017年11月22日　13時49分　組版端末08号機（N2DTP008）　降版確認
11月27日・はだの1・

はだの都市農業支援センター

荒廃農地を観光資源に

意見　高齢化が進み今後はさらに荒廃地が増えると懸念されているが、農地の貸し出しなど、観光などに生かしてほしい。また行政とJAで取り組んでいる内容はあるのか。（本町・南・西・上）

対応　JAの「さわやか農園」や行政などの「ふれあい農園」と「コミュニティ農園」で農地の貸し出しをしています。農地中間管理機構の活用なども考えられます。

上地区では、地区営農推進協議会と支所運営委員会が連携しながら農園ハイク収穫体験や不耕作地にソバを作付けし、そば作り教室を行っています。

料理教室の合間に子どもの世話をする保育サポーター

生活福祉

活気あふれる女性部活動を

意見　女性部の部員が減り、班長や役員の受け手がなく困っている。役員を受けると負担が大きいので、行事を減らしてほしい。（北）

対応　今年度、運営委員（サポーター）を部員から募集し170人が協力しています。今まで班長や役員は全ての行事の運営委員でしたが、それを広く募集し、出来る方が委員となり、役員の負担軽減につながっています。皆さまで活動を盛り上げましょう。

意見　人間ドックの胃部健診（バリウム）を受けているが、高齢になると体を支えるのがきつい。胃カメラは予約が取りにくいので、優先して予約を取ることができないか。（東）

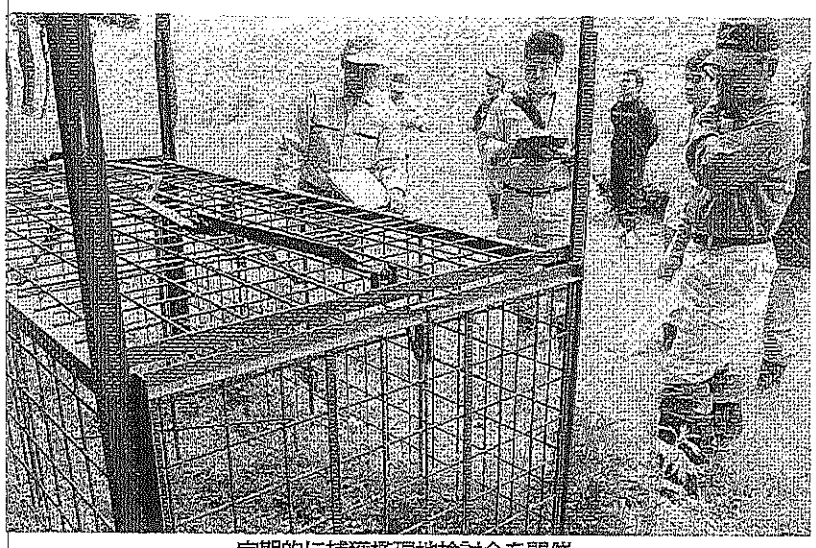
対応　健康管理センターでの胃カメラ受診者数が限られており、希望者が非常に多いことで予約が取りにくい状況です。要望としてJA県厚生連に伝えます。

店舗販売

J・iba―GAP導入へ

意見　檻（おり）で鹿・イノシシを捕獲後、猟友会に止め射しを掛けできないか。（東・南・北・西・上）

対応　猟友会の役割は、止め射しの殺処理までで、基本的には、檻の管理者に処分をお願いしています。その後の処理については、猟友会の善意で処理してもらっていますが、今後も継続して行政および猟友会に働き掛けていきます。



定期的に捕獲檻現地検討会を開催

意見　新聞などでGAP（農業生産工程管理）についての話題が多く取り挙げられているが、JAはだのではGAPに対してどのような取り組みを行うつもりか。（大根・南・西）

対応　GAPは、安全な農産物を作り、農作業中の安全を確保し、自然環境への影響を抑えるといった目的に沿って農家が農業を実践していることを第三者が認証することです。生産から出荷まで各段階で、守るべきさまざまなルールが定められています。農家は、認証を得ることでJiba―GAP導入説明会を開催しました。

農産物の販売先などに対する信用力が高まり、販路が安定するメリットが期待できます。

はだのじばさんずでは、出荷者による農業生産活動の持続性を確保するためにGAP導入を促し、「食品の安全」「環境保全」「労働安全」に関する法令などを遵守するとともに、加工品出荷者に対してはHACCP（危害分析重要管理点）導入を促し点検項目を定め、その実施・記録・点検・評価を繰り返し生産工程の管理改善に努めます。10月には全出荷者を対象としたJiba―GAP導入扱いはできないのか。（南）

意見　主食の年間特約契約で、「はるみ」など神奈川県産米の取り扱いはできないのか。

対応　神奈川県産米は全体の作付け量も出荷量も少なく学校給食への供給も不足し、年間に安定して供給できる数量が不足している状況です。

「はるみ」については、組合員がはだのじばさんずに出荷していますのでこちらでお買い求めください。

これからも、「安心」なお米としてJAのパールライスをご賞味ください。

意見　JAの指定業者と言って「アサンテ」が、シロアリや床下診断の点検巡回に訪問しているが、指定業者一覧を作成して組合員に配布したらどうか。（南・西）

対応　株式会社アサンテは、JA全農指定業者です。必ず「JAはだの」と書いてある名札をつけて訪問しています。

また、指定業者一覧については、業者の数も多いことから難しい面があります。訪問時には身分証明書も携帯しています。不審だと思われたらJAへお問い合わせください。

経済

安全・安心な米を提供

意見　支所・支店旅行により、事業や組織に捉われずにさまざまな利用者が参加できる。旅行をきっかけに利用者を獲得して事業の拡大を図ってみてはどうか。（大根）

対応　さまざまな旅行を実施しています。協同組合らしく、人のつながりを大切にして旅行をきっかけに、さらにJA事業を理解してもらえるよう取り組んでいきます。

好評を得た「はだの丹沢梨サイダー」

対応　梨部やいちご部外の農産物を加工し製品へ依頼して、規格化することにより、農家の所得増大と「オンリーワン商品」の開発に努めてきました。

その結果、3月には「はだの丹沢梨サイダー」を、8月には「はだの丹沢苺サイダー」の販売を開始しました。両方とも1万2000本を製造しましたが、梨サイダーは8月に完売し、現在追加製造をしています。苺サイダーも販売当初から売り上げは順調に推移しています。また、容器については発注単位が課題です。

意見　はだのじばさんずの取扱高は、近年10億円を前後しているが、差別化商品の開発や出荷者のモラルなどの指導を含めた販売強化が必要ではないか。（大根）

対応　販売戦略としては、はだのじばさんずでしか購入できない「オンリーワン商品」の開発で、ドレッシングやサイダーの販売に努めています。出荷者へもスーパーマーケットなどでは手に入らない農産物の栽培や収穫時期をずらした出荷などで、単価が上がる方法を促しています。

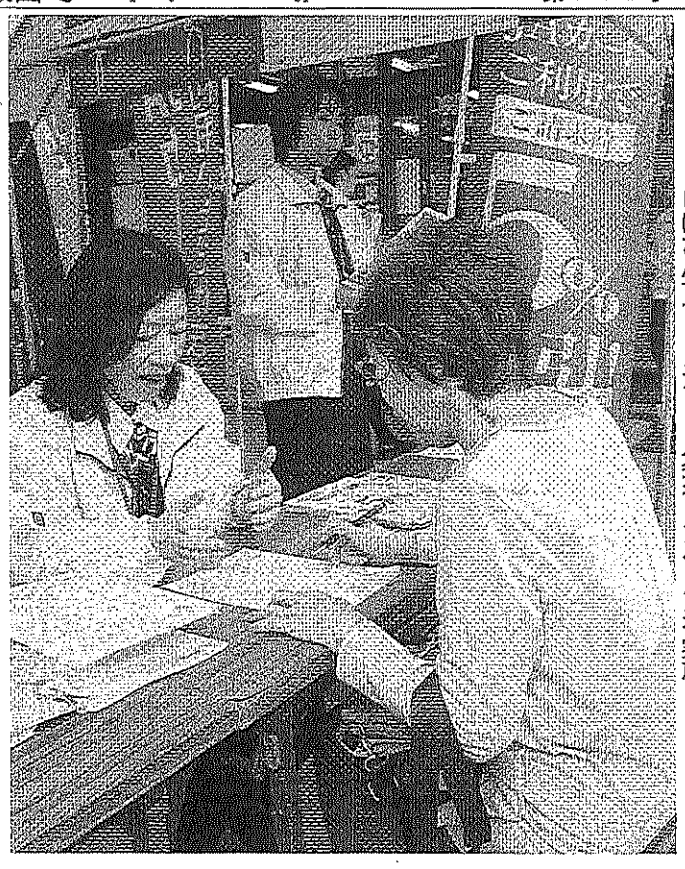
また、栽培講習会や農薬安全管理指導などの講習会を設け、出荷者のモラル向上と販売強化に努めています。

葬祭

会葬者に見やすく案内

意見　JAセレモニーホールはだのの焼香所前にある「ご焼香はしばらくお待ちください」の看板が高い位置にあり、祭壇が見えにくいので少し下げてほしい。（西）

対応　一般会葬者の方が決められた時間前に焼香しないよう、あえて視界に入る高さにしてご案内しています。ご理解ください。


じばさんずでJAカード入会キャンペーンを実施

信用

じばさんずでJAカード利用を

意見 JAカードのじばさんず5%割引について教えてほしい。(大根・西)

対応 JAカードの直売所5%割引については、直売所利用者の拡大、直売所売り上げの増加、生産者の所得向上に資することを目的に、JAバンクが今年4月から開始した2年間限定の全国施策で、割引部分の5%は農林中央金庫が負担しています。全国およそ795カ所、県内では35カ所の直売所が割引対象です。

はだのじばさんずでの会計の際、JAカード(ニコスブランド)で支払いをすると、農畜産物に限らず全ての商品が請求時に5%割引になります。

意見 ゆうちょ銀行のATMでJAのキャッシュカードで入出金すると手数料が掛かるようになったのか。手数料が掛かっても構わないので、午後6時以降もセブンイレブンのATMが利用できるようにしてほしい。(西・上)

対応 ゆうちょ銀行ATMで利用時の手数料は、9月の機関紙「JAはだの」やホームページでもお知らせしている通り、10月2日から有料になりました。(平日午前8時45分~午後6時の入出金手数料を108円に変更)。また、平日日中以外の手数料も見直しました。曜日や時間帯で手数料が異なりますので、詳細はホームページや店頭でご確認ください。現在もセブン銀行ATMで、JAのキャッシュカードは午後9時まで利用できます。無料の時間帯は平日の午前8時45分~午後6時、土曜は午前9時~午後2時です。それ以外の時間帯(日曜・祝日は終日)には108円の利用手数料が掛かります。

意見 年金の支給漏れが問題になっているが、JAでは年金関係の相談に乗ってもらえるか。(北)

対応 本所信用課に年金業務専任のJAレディーが2人います。公的年金の裁定請求手続きのサポートや、もらい忘れ年金の相談なども受け付けていますのでぜひご相談ください。

共済

保障見直しで安心を強化

意見 長期共済の新契約高が前年と比べ大幅に伸びている一方、保有高が減っているのはなぜか。(大根・東・上)

対応 今年の4月に建物更生共済の新商品「むてきプラス」が登場し、好評。結果、新契約高が伸びました。

しかし、新契約以上に満期などが多かったことから保有高は減っています。

意見 新しい建物更生共済の変わった点は。(大根)

対応 「むてきプラス」の主な変更点は、満期共済金額の30倍まで保障ができるようになったことです(従来は10倍まで)。その分安い掛金で大きな保障が可能となりました。

また、所定の門・塀・カーポートなどの保障も自動付帯となりました。この機会に保障の見直しをしてみてはいかがでしょうか。

意見 先日、渉外担当の職員に建物更生共済の見直しを提案してもらった。タブレット端末での説明も非常に分かりやすく、安心して手続きができた。(西)

対応 タブレット端末を渉外担当全員に携帯させ、分かりやすい説明とペーパーレスによる事務処理の効率化に取り組んでいます。

改革推進

秦野の魅力を都内で発信

意見 JA東京アグリパークに出店したとのことだが、内容とどのくらいの期間行ったのか。また、常時出店するのか。(本町・北)

対応 新宿駅南口の近くに、JAグループ東京のビルが今年4月に新装オープンしました。その1階をアグリパークとして食と農に関わるさまざまな取り組みをPRする「情報発信拠点」としています。都内のJAを中心に週替わりでPRを行っています。その中で、7月中旬に4日間JA東京中央(世田谷区・杉並区・大田区管内)主催のイベントに参加し、秦野産の農産物を販売しました。また、全国のJAにもPRの機会をということで、9月12~14日までの3日間JAはだの主催のイベントを実施しました。

秦野産農産物の直売や「うでピー」の販売を中心に、青年部の対面販売や女性部による料理、工作教室などを行いました。

秦野の農業だけでなく、秦野市・商工会議所・観光協会の協力を得て秦野の魅力をPRしました。今後は未定ですが、機会があればさまざまな場所で秦野の農業をPRしていきます。

意見 JAはだので取り組んでいる改革はどのようなものか。「自己改革への挑戦」の中で一番大切なものは何か。(南・北)

対応 組合員との「徹底的な話し合い」をキーワードに、「食と農を基軸とした地域に根差した協同組合」として、総合事業の展開により「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けて挑戦しています。組合員の期待に応え、認めていただくことが一番大切であると考えています。各部署で重点項目を定め改革の実現に挑戦していますが、その中で営農経済改革は「農業協同組合」としてしっかり取り組まなければならないと思っています。

意見 2020年度に新東名高速道路が開通予定だが、サービスエリア(SA)や周辺でJAはだのとして何かを行うなど、考えていることはあるのか。(大根・南・北・西)

対応 新東名高速道路のSAへの出店については、NEXCO中日本から開通の3年前から具体的な話をするということでしたが、情勢が変わり開通の半年前から話し合うことになりました。SA内に出店する場合、24時間営業や高額な賃料、農産物を常時確保できるかなど課題が多くあることから、この決定したテナントと交渉して、農産物直売コーナーを設置することや、飲食店には秦野産の農産物を使っていただくよう秦野市の協力を得て交渉を進めていきたいと考えています。

また、秦野市や商工会議所、観光協会と連携し、スマートインターチェンジ周辺に直売所や観光農業の拠点施設設置などを検討していますが、具体的な方向性は出ていません。今後も引き続き検討していきます。

JA東京アグリパークに出店して秦野産をPR

大刷り2号機 (N2BFEP02) 2017年11月22日 13時15分 組版端末08号機 (N2DTPC08) 降版確認
11月27日・はだの2・

総合リスク管理

不祥事未然防止に向けて

意見　他県のJAで多額の横領が発生した。JAはだのでは、どのような対策をしているか。また、監査体制はどうなっているか。(東)

対応　JAはだのは、不祥事未然防止に向けた取り組みとして、役職員教育によるコンプライアンス意識の徹底の他、連続職場離脱制度の導入や無通告の検査、定期的な人事異動を行っています。現在、監事監査、内部監査の他、JA全国監査機構監査や行政検査を受けています。

企画

環境変化見通し事業展開

意見　JAはだのは合併についてどう考えているのか。合併はしないのか。(大根・本町・東・南・北)

対応　近隣JAの動向を注視し、当JAを取り巻く環境の変化などをよく考察した上で、合併も一つの選択肢として、判断していきます。

意見　上半期剰余金が前年と比較して1億円減少している要因は何か。また、下半期の見通しと、今後の対策は。(全地区)

対応　日銀のマイナス金利政策の影響による信用事業の利ざやや信連からの奨励金・配当金が減少したこと、また残業や退職関係の人件費が増加したことが主な要因です。

事業実績については計画通り推移しているものの、マイナス金利などの影響で依然厳しい状況です。貸出金や有価証券などの自己運用を伸ばしていくとともに、経費の抑制に努め、収支改善に取り組んでいきます。

組織教育

かわら版 地域情報お届け

地区の情報が満載の「かわら版」

意見　各支所・支店で発行している広報紙(かわら版)はパソコン打ちでなく、手書きの温かみが伝わって良い。身近な情報が掲載されていて毎回楽しみにしている。今後も続けてほしい。(南・北・本所)

対応　かわら版は職員教育の一環としてJAや地域のことを学ぶため、各支所・支店の若手職員が担当し、毎月発行しています。今後も身近な情報を載せた、地域密着の紙面を心掛けていきます。本所1階の入り口付近に全支所・支店のかわら版を掲示していますので、ぜひお目通しください。

意見　座談会は市内83会場で開催されているが、出席者はどのくらいか。(南)

対応　年度や春か秋かによって出席人数は前後しますが、おおむね1100～1300人の組合員が出席しています。昼間や土曜日の開催など、多くの組合員が参加しやすい方法で開催していきたいと考えています。また地域によっては、夫婦での出席を呼び掛けている生産組合などもあります。

意見　JAは組合員向けの講座を開催して、より農業を知ってもらう取り組みをしているが、都市農業を盛り上げるため、さらにPRしてほしい。(南)

対応　JAはだのは「組合員基礎講座」「組合員講座」「専修講座」の3講座からなる協同組合講座を開講しています。この講座では、地域農業や協同組合に関することをはじめ、農政や生活、文化、環境、税金など、さまざまなテーマに沿ったカリキュラムを企画・実施しています。修了者が農業について理解を深めるとともに、地域リーダーとなってもらえるよう、今後も一層効果的な内容を検討するとともに、より多くの組合員に受講してもらえるようにPRしていきます。

講座で輸入農産物の保管状況を視察

意見　生産緑地制度とその改正について説明してほしい。(南・北・西・上)

対応　秦野市は生産緑地制度の三大都市圏特定市に該当し、現在、市内で679カ所、102・6㌶が生産緑地指定を受けています。生産緑地は、税金が農地課税で優遇され、1992年の当初指定から30年経過で買い取り申し出もできます。

今回の大きな変更点は①面積要件の緩和や道連れ解除になる可能性減②農家レストランなどの設置が可能③特定生産緑地の創設――の三つです。生産緑地指定後30年経過した生産緑地は、10年更新の「特定生産緑地」として引き続き指定されると、税制優遇の継続と農地の保全を図ることができます。

総務

組合員資格のご確認を

意見　組合員資格を確認することについての記事を目にしたが、現在、正組合員としての資格がない。どうしたら良いのか。(本町・南)

対応　配当金のお知らせや機関紙「JAはだの」で組合員の資格要件について掲載し、資格変更に該当する場合はJAへ申し出るようお願いしています。なお、正組合員の資格要件に該当しなくなった場合は准組合員への変更が必要となりますので、各支所・支店へお申し出ください。

意見　組合員が増加しているのはなぜか。また、組合員加入のメリットはあるのか。(東)

対応　給油価格の組合員割引を目的に加入される方が増えたことや、員外利用制限の面から事業利用者の組合員加入を勧めているためです。また、給油価格以外にも各事業利用割引や活動助成など、今後も魅力を感じることができる組合員メリットを提供していきます。

意見　役員改選について、主な変更点を教えてほしい。(全地区)

対応　役員の定数は理事25人・監事5人の30人となります。また、理事の過半数は認定農業者または実践的能力者としなければならないことや、業種別部会についても区域からの推薦になることなどが変更となります。また、常勤役員は新たに営農経済担当常務を設置し、4人体制となります。さらに理事のうち5人は女性枠とし、全域から選出していきます。

意見　本町支所の新事務所に貸金庫を設置するとのことだが、サイズと利用料はどうなるのか。(本町)

対応　全自動タイプで、サイズは高さ12㌢、幅26㌢、奥行45㌢で123マスの貸金庫を設置します。利用時間はATMの稼動時間帯に合わせて土・日曜日、休日も対応し、利用料金は組合員月額1500円(税別)です。

ご希望の方は本町支所(☎81―0019)までお問い合わせください。

組合員資格をご確認ください

組合員加入の際にご提出いただいた書類の記載に変更がある場合、その旨を書面で届け出ていただくことになっております。以下の組合員資格を確認の上、資格要件・氏名・住所・電話番号などの届出事項に変更・修正があった場合は、各支所・支店窓口へお申し出ください。また、不明な点がありましたらお問い合わせください。

【正組合員資格】
- 耕作面積が10㌃以上で農業を営む個人
- 1年のうち90日以上農業に従事する個人
- 成鶏200羽以上、成牛5頭以上、豚50頭以上のいずれかを常時飼育、または養蚕30㌔以上育てる個人。もしくは、温室100平方㍍以上を経営する個人

【法人正組合員資格】
農業を営む法人で、事務所または経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

【准組合員資格】
秦野市内に住所を有する個人で、継続して組合の事業を利用する方

㈱協同コンサルトはだの

新築の相談を受付中

意見　㈱協同コンサルトはだのは、個人住宅の建築も行っているのか。(北)

対応　個人住宅をはじめ、アパートなどの賃貸用建物やリフォームなども行っており、ご相談からアフターサービスまで、組合員の不安や問題を親身になって解決します。また、建築の各工程で、メーカーとは別に検査を行い、各工程検査に合格した建物だけを引き渡します。

その他、宅地・駐車場など土地の売買から賃貸借まで行っています。ぜひご相談ください。